



# 令和5年度 9月号 通巻834号

愛媛県立松山東高等学校通信制課程

〒790-8521 松山市持田町二丁目2番12号

TEL 089 (945) 0131・089 (945) 0177

<http://matsuyamahigashi-h-c.esnet.ed.jp>

印刷所 株式会社 松栄印刷所



## 9月の行事予定

S:スクーリング X:レポート提出不可  
◇:通信制教員不在(レポート提出可能)

|    |   |                    |   |
|----|---|--------------------|---|
| 1  | 金 | 友垣通信9月号・レポート発送     |   |
| 2  | 土 |                    | × |
| 3  | 日 | 定通制総体              | × |
| 4  | 月 |                    | ◇ |
| 5  | 火 | HR活動(パネル絵下書き)      |   |
| 6  | 水 |                    |   |
| 7  | 木 |                    |   |
| 8  | 金 |                    | ◇ |
| 9  | 土 | 同窓会総会              | × |
| 10 | 日 | 前期特別試験 再試験対策講座     |   |
| 11 | 月 |                    |   |
| 12 | 火 |                    |   |
| 13 | 水 |                    |   |
| 14 | 木 |                    |   |
| 15 | 金 | 再試験対策講座            |   |
| 16 | 土 |                    | × |
| 17 | 日 | 前期再試験 HR活動(パネル色塗り) |   |
| 18 | 月 | 敬老の日               | × |
| 19 | 火 |                    |   |
| 20 | 水 |                    |   |
| 21 | 木 |                    |   |
| 22 | 金 |                    |   |
| 23 | 土 | 秋分の日               | × |
| 24 | 日 |                    | × |
| 25 | 月 |                    | ◇ |
| 26 | 火 |                    |   |
| 27 | 水 | 友垣通信10月号・レポート発送    |   |
| 28 | 木 |                    |   |
| 29 | 金 |                    |   |
| 30 | 土 | 前期卒業式・後期入学式準備      |   |

## 運動会パネル絵制作が行われます

運動会では、三つのグループがそれぞれ「パネル絵」を制作して飾ります。

パネル絵制作を9月5日(火)HR活動13:40~と、9月17日(日)HR活動13:00~に実施します。

絵を描くのが好きな人、あまり得意ではないけれど協力したいという気持ちのある人は、是非参加してください。

日時 9月5日(火) HR活動13:40~(特活1時間)

9月17日(日) HR活動13:00~(特活1時間)

場所 312・313教室・通教ルーム

(ホワイトボードに詳細を貼っておきます。)

※作業がしやすい、汚れてもいい服装で参加してください。



体 育 1



体 育 2



体 育 3

## 令和8年度以降の在籍校と卒業校について(お知らせ)

令和5年3月に、愛媛県教育委員会により、愛媛県立学校振興計画が策定・公表され、令和8年度に昼間二部定時制課程と通信制課程を併置した「愛媛風早高校(仮称)」を設置し、それに伴い、本校の通信制課程は募集停止となることが決まっております。

現在、本校通信制課程に在籍されている生徒の皆様については、令和7年度末までは本校の在籍となりますが、令和8年度以降は「愛媛風早高校(仮称)」の在籍となります。併せて、令和8年度前期以降の卒業については「愛媛風早高校(仮称)」での卒業となることを、お知らせいたします。

♪ Let's enjoy a sports Day ♪

— 運動会に参加しよう! —

1 日 時 令和5年10月8日(日)

| 時 間 帯       | 内 容         | 特別活動時間数 |
|-------------|-------------|---------|
| 9:20~10:15  | 集合・準備       | 特別活動3時間 |
| 10:15~11:50 | 開会式・競技(午前)  |         |
| 11:50~12:40 | 昼食          |         |
| 12:40~14:20 | 集合・競技(午後)   | 特別活動3時間 |
| 14:20~15:05 | 閉会式・後片付け・HR |         |

※午前、午後とも途中参加は、できません。  
※1日(6時間)出席し、競技に参加した場合に限り、特別活動6時間のうち2時間を体育に振り替えることができます。

2 場 所 体育館



3 プログラム (変更する場合もあります)

| 午 前 の 部        | 午 後 の 部        |
|----------------|----------------|
| 1 準備体操         | 8 玉入れ          |
| 2 徒競走          | 9 フィジカル・ディスタンス |
| 3 出た目で勝負       | 10 イレロ         |
| 4 逆転!リバーシ!     | 11 みんなでジャンプ    |
| 5 破裂の刃         | 12 ちょっと拝借      |
| 6 綱引き          | 13 Uber Ball   |
| 7 フォークダンス①     | 14 通教リレー       |
|                | 15 フォークダンス②    |
| *パネル絵紹介(各年次ごと) | 16 整理運動        |

4 注意事項

- (1) 運動会にふさわしい服装(スポーツウエアとして認められるもの)と体育館シューズで参加してください。  
(服装に不備がある場合は、運動会に参加できない場合があります。)
- (2) 昼食や飲料水は、持参してください。各自で、熱中症対策も行いましょう。
- (3) 10月7日(土)は、13:00~体育館にて、前日準備を行います。12:55までに体育館に集合してください。特別活動1時間分の出席となります。

進路課だより

○進路説明会について  
■日時 10月3日(火) 3時間目(11:50~12:40)  
■内容:①社会に求められる力とは  
②進路研究の進め方  
③小論文入門  
この三つの講座に分かれて行います。①は外部講師による講座です。  
■特別活動時間数1時間が与えられます。  
まだ進路についていろいろ迷っているという人、ぜひ参加して、自分の進路について考えるきっかけにしてください。

7月30日

令和5年度

生徒生活体験発表大会が行われました

発表題目と発表者

|   |                    |     |       |
|---|--------------------|-----|-------|
| 1 | がんばるということ          | 2年次 | 姫野菜々子 |
| 2 | いつでも、誰でも、チャレンジしていい | 3年次 | 三浦あすか |
| 3 | 人は変われる             | 3年次 | 林 千鶴  |
| 4 | 通信制での気づきと学び        | 1年次 | 田中 美宇 |
| 5 | 自分を認めて             | 2年次 | 服藤 更紗 |
| 6 | 3年前の私へ             | 3年次 | 田中日香里 |
| 7 | 私を変えた出来事           | 3年次 | 石井 莉乃 |
| 8 | 「僕」という存在           | 3年次 | 岡本 琉菜 |

「生徒生活体験発表大会」は、通信制に入学するまでの体験、入学して感じたこと、経験したこと、そして変わったこと、成長したこと、見つけた夢や目標を自分の言葉で表現する大会です。みんなの前で堂々と発表できたことは、大きな自信になったと思います。聴いていた友垣も、惜しみなく拍手を送り、たくさんの感想を寄せてくれました。発表者の皆さん本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。



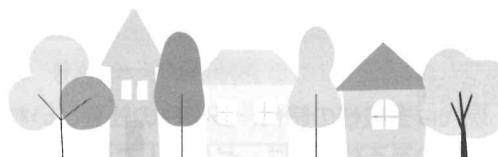
## 優秀賞

三 浦 あすか      林      千 鶴

## 努力賞

|         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 姫 野 菜々子 | 田 中 美 宇 | 服 藤 更 紗 |
| 田 中 日香里 | 石 井 莉 乃 | 岡 本 琉 菜 |

賞



## 発表した友垣の感想

○私は発表者として参加しました。自分の発表ではとても緊張しましたが、リアクションをしながら聴いてくれる聴衆の皆さんのおかげで堂々と発表ができたと思います。7名の発表者の皆さんの言葉に深く共感し、心にジーンとくる感覚がありました。多くの人にとって気づきや感動がある素敵な大会でした。

## 参加した友垣の感想

○8名の方の生徒生活体験発表を聞いて、皆さん自分と向き合いながら将来のことを考えている姿に感動しました。不安を抱えているのは自分だけではないんだと実感できたし、自分もこれから頑張りたいなと思いました。

○今回発表してくれた8人の人達に「感謝をしないと」という気持ちになりました。私個人の悩みと8人の発表内容がリンクしているところが多少あったので、涙がこぼれそうになりました。自分の抱えた悩みが少し軽くなったと感じ、今日発表を聞いてとても良かったと思いました。

○通信制への入学やその他通学などに関して、ほとんど一人で自分の力だけで頑張ろうとしてきた私にとって、今日の皆さんの発表内容は周りの人の支えにも目が向けられていて、自分の至らなさを痛感した時間でした。今まで経験した辛さ、苦しさを経て、それらを抱えたり乗り越えたりして、今を生き、目標に向かって走っている姿がとてもカッコ良かったです。その頑張る姿を見習って、尊敬する皆さんのようにかっこよく生きたいです。



審査の結果、選出大会への学校代表者に以下の方々が選ばれました。

## ■三浦あすか さん

「四国地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会」に学校代表として応募します。

代表者は全国大会に進みます。

## ■林 千鶴 さん

「第61回愛媛県高等学校定時制通信制中予地区生徒生活体験発表大会」に学校代表として出場します。

・日時 9月20日(水) 18:00～

・場所 松山南高等学校 体育館

中予地区大会で選出された代表者は、県大会へと進みます。

三浦さん、林さん頑張ってください。



## だれもが幸せになるために

～「LGBTsの理解を通して」～

人権教育主任より

現代は多様性の時代、多様性の社会といわれています。多様性のある社会とは、どんな人でも尊重され、その人らしく生きることを妨げられない社会のことです。とはいえ、現実にはまだまだ、少数派として世間の誤解や偏見にさらされ、生きづらさを感じている人たちも少なからず存在します。いわゆる、「性的マイノリティ」の人たちも、そうした境遇におかれています。

「性」を構成する要素は本当に多様で、人それぞれです。ひとくちに「性」といっても、まず生物学的な性にはじまり、どのような服装やことば遣いをするかという「性表現」、どのような相手を好きになるかという「性的指向」、自分の性別をどう思うかという「性自認」など、様々な概念が関わりあっており、人によっては大変複雑なものとなっています。性的マイノリティ、「LGBT」(レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー)の人たちへの理解は少しずつ進んできているとはいえ、まだまだ十分とは言えません。「LGBT」の人たちがどれくらい存在するかは調査によって違いはあるのですが、電通による2015年の調査では、現在の日本で100人中7人が「LGBT」に該当するという結果が出ています。これは決して少ない数字ではありません。これだけの人が社会から理解されず苦しんでいる恐れがあるのです。性的マイノリティをめぐる課題は、人権を尊重し多様性を認める社会をつくる上で、もはや喫緊の課題なのかもしれません。

多数派の人たちにとって、性的マイノリティの課題は、自分には関係ないことなのではないでしょうか。もし、あるとき、家族から、あるいは友達から、自分の性に対して違和感があるというような悩みごとを打ち明けられたら、あなたはどのようにしますか。最初は困惑して、どうしていいかわからないかもしれません。しかし、これほどの悩みを打ち明けてくれたということは、「あなたを信頼している」というメッセージでもあります。まずは「話してくれてありがとう」という気持ちを伝え、相手の話に真摯に耳を傾けましょう。相手を理解し、共感しようとすることは何よりも大切です。もちろん、打ち明けられた悩みを上手に解決してあげることは、すぐには難しいかもしれません。しかし心から相手のことを気遣い、寄り添って話を聞いてあげるだけでも、意義のあることなのではないでしょうか。

マザー＝テレサは、『愛』の反対のことばは『憎しみ』ではなく、『無関心』です。』と言いました。「性的マイノリティ」の問題を遠いところのできごととは捉えず、みんなが自分ごととして向き合って考える。それこそが偏見のない多様性のある社会をつくる第一歩ではないかと思うのです。

## 修学旅行・追加募集のお知らせ

11/8(水)～10(金)、関西方面(なにわクルーズ、USJ、倉敷散策など) 費用：5万円前後

これまでに申し込みをしていない人で、参加を希望する人は9/11(月)までに学校(担当：川又)に連絡してください。先着順とし、人数に達したら募集を締め切ります。(定員：35名)

〈対象生徒〉

○これまで(前籍校含む)に、高等学校での修学旅行に参加していない者

○令和4年度末までに、18単位以上取得している者

○学習状況が良好である者(令和5年度前期単位未修得者は参加できません。)

○本校または職場での内科検診を受診済み、または10/1実施の内科検診を受診できる者

コラム

言葉

城 隆文 先生

ある日、私が常々素敵だなと思っている人が、こう言った。

「I like you all the better for your faults.」

少しドキドキした。「all the better for～」が「～だからよりいっそう」を表す言葉だから。

ただ、すぐ後に「私ね、この言葉が好きになって英語と関わる仕事がしたいと思うようになったの。」と微笑み顔を見ながら、少しガッカリしたのと同時に「欠点があるからなおさら好き」という言葉が暫く頭から離れなかった。

それから数週間後、あるTV番組で、マツコ・デラックスさんが同じことを言っているのに気付いた。「『～だから好き』よりも『～だけど好き』の方が本当のような気がする。」「～だけど好き」ということは、「～」が無いと好きではないということになるのだろうか。少し変えただけで随分意味が変わるものだ。

数日前、久しぶりに似たような言葉を聞いた。その人とは、今までの生き方、家族、友人、仕事に対する考え方や現状についてたくさん話した。昔からの友人関係で悩んでいたその人は「納得いかないこともたくさんあるけど、お別れしたくないの、やっぱり好きだから。」と言って微笑んだ。

「I like you all the better for your faults.」

あの日以来、私はこの言葉が好きだ。

【9月スクールライフアドバイザー相談日】

10日(日)・17日(日)・19日(火)